

R4.2.14 岩手県スマート農業推進研究会

セミナー資料

# 「生産管理システムを活用した スマート農業の取組み」について

(株) 白銀カルチャー  
代表取締役 荒木康男

# 1. 会社の沿革



ライスセンター

## ・ 会社の沿革

- 平成12年（2000）圃場整備事業を見据えて生産組合を設立し、共同化する。
- 平成15年2月（2003）担い手農家6戸で（有）白銀カルチャー設立
- 平成25年4月（2013）（株）白銀カルチャーに組織変更し現在に至る。

## 2. 会社の概要

R3データ

●作付面積	面積	116.8ha (延面積	128.2ha)
内訳	水稻	48.9ha	
	大豆	55.9ha	
	大麦	3.7ha	小麦6.2ha (麦後大豆)
	枝豆	10.3ha	(枝豆後1.5haカリフラワー)
	長葱	0.4ha	
	里芋	0.4ha	
	その他	0.9ha	(トマトハウス0.3ha)

### ●作付けの特徴

- ・ 水稻の比率が低い (収益性による)
- ・ 麦・大豆、枝豆・カリフラワーと2毛作が多い (収益追求、労働分配)

●役員 4名 (平均52歳) 従業員 10名 (平均36歳)



カリフラワー畑

### 3. スマート農業との出会い

#### ●農研機構から技術指導

(H28～現在)

\* 水稲、大豆、麦、枝豆の栽培  
並びに作業の効率化実証

\* 生産性と所得の向上を目指して、  
必然の方向がスマート化、規模拡大による省力化  
収益性の高い作物の導入

#### \* R1～2「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」成果

- ◎スマート農機を生かせる基盤必要、暗渠排水は地下灌漑機能
- ◎農作業の効率化で意識改革、余剰労力の活用
- ◎作業日報のスマート化で収益意識醸成
- ◎園芸は救世主になりえるか？



水稲 V 溝乾田直播



大豆狭畦栽培

# 実証するスマート農機・・・目的でなく手段である



ロボットトラクター



直進自動田植機



自動給水栓・水田センサー



農薬散布ドローン



ロボットコンバインと  
ロボットトラクターの協調作業



GPS基地局

## 4. アグリノートの活用について

### 1. なぜアグリノートか。

作業日報として使い慣れていた。

慣れたせいか使い勝手が良い。

### 2. 利用状況

- ・ 作業日報として . . . . . 労働時間集計
- ・ トレサビリティとして . . . . . 栽培記録に反映
- ・ 肥料、資材の管理 . . . . . 棚卸の参考

### 3. 収益の見える化

- ・ 労働費や、資材費などの経費を把握できる。

### 4. 経営分析が容易

- ・ 各種データをエクセルデータとしてエクスポートしデータ加工が容易
- ・ 多様な分析が可能
- ・ レベルに合わせた活用ができる

**完全には活用しきれていない。徐々にレベルアップする必要がある。**

## 5. 経営の課題

- ・ 農業法人の歴史的背景  
平成7年食管法廃止
- ・ 課題
  - \* **組織力、経営力**の向上を図る。
- ・ 対策
  - (1) 人材育成  
幹部社員と技能社員
  - (2) 収益率の向上  
スマート農機で生産性の向上
  - (3) 経営の見える化
    - \* 作物別の**収益性数値化**（麦、大豆、水稻、園芸作物、施設園芸）
    - \* リスク分散栽培（経営の安定）



枝豆収穫

## 6. スマート農業の未来と期待

### § その先に何を描くか

☆ICT, IoT, AI技術の先の農業法人経営の「姿・理念」をどう描く。

- ・ **イノベーション**の日常化とブランド化を目指す。
- ・ **収益力**を伴った経営、**リスクマネジメント**

☆将来の法人像

- ・ 研究、生産、加工、販売を備えた**総合力**のある法人
- ・ 人財育成……**多様な人材（ダイバーシティ）**をリクルートし育てる。

☆スマート農業の先にどんな景色が見えるか。

（経営者として描けるか？）

- ・ キーワードは「**地域と人を守る**」
- ・ 長期計画に反映させた**将来像**を描く。

園芸拡大か、加工か、販売か、輸出か、……模索中



枝豆自動選別機導入

## 7. 最後に

☆変化の著しいこの時代、他産業との連携を深め互いに研鑽し、農業が**魅力ある産業（休日など）**として発展する。

☆農業を通して**所得の向上**を図り、地域に還元し、地域の活性化に繋げる。

☆農業のすばらしさを**次の世代**へ引き継ぐ。

株式会社 白銀カルチャー  
代表取締役 荒木康男